

セカンドステージで培いたい力と内容

「定着・習熟で伸長」－主体的に学ぶ姿勢の定着		
魂を育てる	知性を磨く	実行力を養う
① 祈り ・静けさのうちに神に心を向けて祈ること ・自分の言葉で祈ること。 ・他者のために祈ること。 ・沈黙で祈ること。 ・祈りを深めること。 ・朝礼、終礼、集会のときにふさわしい祈りをすること。 ・自然の中で祈ること。 ② 神 ・神の愛に気づくこと。 ・キリスト教について知的な理解を深めること。 ③ 聖書 ・新約聖書を読み始めること。 ・聖書を通してイエス・キリストの生き方を学び始めること。 ④ 自己認識 ・神と人に向けて心を開くこと。 ・自分が神から愛されている存在だということを知り、自己の長所も短所も受け入れようとしていること。 ・他者も神から愛されている存在であることを知り、共に生きている喜びを感じ取ること。 ・自らの中にある自己中心性に気づき、それを正そうとすること。 ⑤ 宗教行事 ・神とのかかわりを大切に祈り、歌う中で、宗教行事の価値に気づくこと。 ・創立者聖マグダレナ・ソフィアについて理解を深めること。 ・聖フィリピン・デュシェーンについて理解を深めること。 ・聖心女子学院の歴史への理解を深めること。	① 学習習慣 ・あらゆる学習の基盤となる基礎学力をつけること。 ・主体的あるいは他と協力して積極的に学ぼうとすること。 ・学習目標に向かって、計画的に粘り強く取り組むこと。 ・学習内容に応じて学習時間を考えること。 ・苦手と思う分野についても地道に学習すること。 ② 思考力 ・論理的に考察する力をつけて、わかりやすく表現できること。 ・既習事項を活かして、新たな課題を解決する力をつけること。 ③ 読解力 ・ジャンルに応じた文章の読み取りができること。 ・児童、生徒間でお互いの読み取りを共有し、自分自身の読みを深めていくこと。 ④ 語彙力 ・教育漢字・常用漢字を習得すること。 ・漢字の意味を理解し、熟語の意味を考え、広げること。 ・故事成語・慣用句・ことわざなどに関心を持ち、必要に応じて活用できること。 ⑤ 表現力 ・自分の感じたことや考えを口頭、文章でしっかりと相手に伝えること。 ・資料等を活用し、適切な語彙を使って意見を発表したり、レポートにまとめたりすること。 ⑥ 計算力・活用力 ・四則計算・文字を含んだ式の計算を、正確に速くでき、それを活用する力をつけること。 ⑦ 観察力 ・さまざまな機会に、五感を活かし、また機器を使って身近な自然科学現象を観察する力をつけること。 ⑧ 英語力 ・語彙力：正しい綴りと発音を習得すること。 ・表現力：簡単な文章や会話を理解し、正しい発音で音読する力をつけること。そして身近な事柄について自分の意見を述べたり、文章にまとめる力をつけること。 ⑨ 体力・運動機能の操作力 ・自分の体力・運動能力を理解し、さまざまな運動領域の知識や技能を身につけること。 ⑩ 情報活用能力 ・情報社会の基本知識を身につけて、活用すること。 ・本、新聞、テレビ、ネットなどを利用し、現実社会を考えるとともにリテラシー力を育成すること。 ⑪ 創造的な表現力 ・多様な技術を身につけ、豊かな感性と発想力を持って、造形（美術）・音楽・身体表現をすること。 ⑫ 実践的思考力 ・学習した知識や能力を、自分や他人の生活や環境に生かし、より良生きるための方策を考えること。	① 基本的生活習慣 ・人とのコミュニケーションを円滑にするために、日常生活における挨拶を大切にすること。 ・言葉遣い：時・場所・相手に応じた敬語を使えること。 ・自己管理：身の回りの整理整頓をすること。 ・時間を意識して行動すること。 ・身体の変化を受容し、健康管理に努めること。 ② 謙虚・質素 ・謙虚・丁寧な態度を意識して、質素な生活すること。 ③ 奉仕の心 ・学校外施設において、援助者、障がい者との関わりを学ぶこと。 ・視野を広げ、自分の力を他者に惜しみなく注ぐことができること。 ④ 感謝の心 ・周りに対する感謝の気持ちを忘れないこと。 ・自然を慈しみ、他の命と共生している意識をもつこと。 ⑤ 国際性 ・自国の文化・歴史を正しく理解すること。 ・広い視野をもち、日常のニュースに関心を持つこと。 ⑥ 判断力 ・自分の言動に責任をもって行動することができること。 ・状況に応じて、正しいことを見極める力をつけること。 ・SNS などを通して、人と適切に関わること。 ⑦ 実践力 ・主体的に考え、行動することができること。 ・託されたことを最後まで丁寧に責任をもってやり通すこと。 ⑧ 対人力 ・誰に対しても温かく接することができること。 ・お互いの違いを認め合うことができること。 ⑨ 内省力 ・自分の言動を振り返り、誤っていること、不足していることを補おうと努力すること。 ⑩ 社会性 ・集団における自分の役割を意識して、言動すること。 ・必要に応じてリーダーになり、またリーダーに協力する態度・方法を学ぶこと。

国 語	セカンドステージ 目標 言語を正しく用い、理解と思考を深め、豊かに表現する力を養う。 ～幅広い言語体験を通し、客観的に文章を読み取ることによって、論理的思考力を養う。～
-----	--

学年	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	我が国の言語文化に関する事項	言葉の特徴や使い方に関する事項	漢字に関する事項	書写に関する事項	聖心の特色
8年	表現や伝達方法を工夫した意見交換を通して、異なる意見にも耳を傾け、自分の考えを深めるとともに物事を多面的に捉える。	文法や文の構成を意識して、論理的で説得力ある文章を書く。 詩歌を創作する。	様々な種類の文章に触れ、ものの見方や考え方の多面性を知る。 物事を探求し、考察・評価する。 〔論理的文章〕文章全体の要旨をつかみ、論理の展開を的確に捉える。 〔文学的文章〕作者の思いに触れ、豊かな感受性を養う。	〔古典〕古文の基礎知識を学び、読解を通して当時の人々の思いに触れる。 漢文訓読の基礎を学ぶ。 百人一首を暗誦する。	〔文語文法〕文語文法の用言を学び文法という概念に対する理解を深める。	漢字や語句の意味を正しく理解し、常用漢字の習熟度を高め、語彙を増やし、日常生活に役立てる。 漢字の成り立ちへの理解を深める。	〔硬筆〕文字の字形を読みやすく整え、速く書く。	作文 <5年・6年>提案・主張・根拠・推敲 ・自分の成長をふり返る作文を書く。 ・自分の思いや考えを相手に伝わるように筋道の通った作文を書く。 ・授業の中で読書感想文の書き方を学ぶ。(読書感想文コンクール全員参加) ・新聞記事の内容を要約したり、自分の意見を書いたりして交流する。 ・作文発表会、校内誌「ゆずり葉」への掲載<7年・8年> 校内誌「塔」への掲載
7年	授業中の発言などを通して、互いの意見をよく聞き、的確に理解し、分かりやすく話す。	文の組み立てや文章の構成に配慮し、自分の意見や感想を明確に表現する。 ポイントを押さえて要約する。 論理的な文章を書く。 詩歌を創作する。	様々な種類の文章に触れ、その趣旨を的確につかむ。 〔論理的文章〕段落ごとの要旨を捉え、文章全体の内容を把握する。 〔文学的文章〕文章表現に基づき、登場人物の心情を読み取る。	〔古典〕古文を読み、内容を把握する。 漢文訓読の基礎を学ぶ。 百人一首を暗誦する。	〔口語文法〕口語文法の言葉の単位文の組み立て、品詞の種類を体系的に捉え、文法という概念の基礎を理解する。	常用漢字を、字形と字義の両面から学ぶ。併せて語彙力を高める。	〔毛筆〕今までに学んだ基本を踏まえ、楷書または行書で、自分の作品世界を創る。 〔硬筆〕文字を正しく、速く、読みやすく書く力を身に付ける。	古典 古典作品の暗誦をする。 セカンドステージ百人一首大会 文法 文語文法の学習に繋がる口語文法を学ぶ。 漢字 同音異義語・同訓異字語に注意して常用漢字を習得し、さまざまな熟語で書けるようにする。 <7年・8年>漢字コンテスト等
6年	〔話す〕資料を効果的に使うとともに、話の構成を考えることで自分の意見が伝わるように話す。 〔聞く〕共通点と相違点を捉えながら聞き、自分の考えを深める。 〔話し合う〕目的や条件に応じて、計画的に話し合い、考えをまとめる。	伝えたいことに合わせた構成を考え、効果的に伝わる文章を書く。(提案する文章など) 集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝える内容を検討する。 言葉を選んで、短歌をつくる。 〔情報〕主張と事例の関係を明確にする。情報と情報との関係付けを理解する。	〔説明的文章〕筆者の主張とそれを支える事例を捉えて自分の考えを深める。表現の工夫に気付く。 〔文学的文章〕視点に着目し、登場人物の相互関係や心情を読み取る。作品の世界を捉え、主題に対する自分の考えをもつ。 〔読書〕人間の生き方や考え方に触れる作品を読み、多様な見方や考え方に触れる。【宮沢賢治・立松和平】 〔音読〕感じたことや考えたことが表れるように音読したり朗読したりする。	〔古典〕古典作品や近代以降の文語調の文章を音読し、昔の人のものの見方や感じ方を知る。 百人一首に慣れ親しむ。 仮名の由来を知る。	〔文や文章／口語文法〕語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の種類とその特徴について理解する。 (文の組み立て・指示語・10品詞など) 〔語彙〕語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して使う。 季節の言葉：二十四節気	新出漢字191字を習得する。 漢字の形と、音・意味との関係を理解する。 熟語の構成を理解する。 同音異義語、同訓異字語を正しく使い分ける。	〈毛筆〉全体のバランスを考え、文字の大きさや配列を決めて書く。 十二支、故事成語などを題材にして書く。 〈硬筆〉書く内容を理解し、場面に応じて、速さを意識して書く。	読むこと ・多様なジャンルの文章に触れる。 文学的、論理的、実用的文章など、文章の種類に応じた読む技術や初見の文章でも読める力をつける。 『読みを深めるための学習概念』 以下の概念を12年間で繰り返し学習することにより深く読める手立てとする。 【文学】人物相互の関係・山場(クライマックス)・主題・象徴・伏線 【説明文】要旨・構成(頭括型・尾括型・双括型)・因果関係・具体と抽象 読書 作家に着目して読み上げたり、自分と本との関わりについて考えたりする。
5年	〔話す〕資料を活用する中で事実と感想、意見とを区別し、話の内容が明確になるように話す。 〔聞く〕話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉えながら聞く。 〔話し合う〕立場の違いを明確にして、計画的に話し合い、考えを広げる。	主張とその理由や根拠を明確にして、説得力ある文章を書く。(意見文など) 目的に合った資料を活用し、自分の考えが伝わるように工夫する。 言葉を選んで、俳句をつくる。 〔情報〕原因と結果の関係を理解する。目的に応じて情報を引用する。	〔説明的文章〕文章構成をとらえて要旨を把握し、自分の考えをもつ。 〔文学的文章〕登場人物の関わりや情景描写から心情の変化を読み取る。伝記から生き方や考え方を読み、自分の生き方を考える。 〔読書〕自然と人間との関わりについての作品や伝記を読む。作家に着目して読み広げる。【椋鳩十・重松清】 〔音読〕読み取ったことや考えたことが伝わるように音読したり朗読したりする。	〔古典〕古典作品の音読を通して言葉の響きやリズムに親しむ。百人一首に慣れ親しむ。 共通語と方言との違いを理解する。	〔文や文章／口語文法〕話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する。 (文の組み立て・指示語・10品詞など) 〔語彙〕心情、事柄や思考に関わる語句の量を増やす。 季節の言葉：気象	新出漢字193字を習得する。 漢字の成り立ち、熟語の構成について理解する。 同音異義語、同訓異字語を正しく使い分ける。	〈毛筆〉筆の穂先の動きや点画のつながりを考えて書く。漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。 〈硬筆〉場面にに応じて、速さを意識して書く。はがきの書き方を理解する。干支・四字熟語などを題材にして書く。	タブレットの活用 ・書いた文章を互いに読み合う。(共有) ・類義語・対義語を調べ、語彙を豊かにする。

社 会	セカンドステージ 目標 社会的な知識の習熟を図るとともにメディアリテラシーを育成し、 体験活動、 問題解決的な学習を通して社会への関心を育てる。
-----	---

学年	地理的環境と人々の生活	歴史と人々の生活	現代社会の仕組みや働きと人々の生活	聖心の特色
8年		【日本の歴史】 (歴史のとらえ方) (古代までの日本) (中世の日本) (近世の日本) (欧米の進出と日本の開国) 旧石器時代から明治初期までの、日本の歴史を学習し、日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を理解する。関わりの深いアジア諸国との交流、近代革命を学習することで、縦軸だけでなく横軸での歴史理解を深め、様々な事象を多角的に考察し公正に判断する力を高める。		- 日本史上の事件について調べ、レポートにまとめる。レポートの事前・事後指導を通して、課題を発見する力、先行研究を整理する論理性、わかりやすくまとめる表現力を育てる (夏休みの課題) - 社会科テストを通して、反復して確実に基礎知識を身につける。 (歴史上の出来事、時代区分、年号、旧国名、中国王朝名、日本の都道府県・県庁所在地・地形) - ICTを活用した授業 例: Google Classroom を活用した課題の配信 Google フォームを利用した学習の確認 - 自分なりのノートづくりを指導する。 - 対話・討論を取り入れる。
7年	【世界の様々な地域】【日本の様々な地域】 扱う地域: 東アジア・東南アジア・南アジア・西アジア・北アフリカ、中／南アフリカ・ヨーロッパ・ロシア連邦・北アメリカ・中／南アメリカ・オセアニア 日本は8地方区分による地方ごと 日本と世界の地理的事象への関心を高め、諸地域の特色を多面的・多角的に理解する。国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を身につける。			- 世界の国々の生活・文化・歴史について調べ、レポートにまとめる。レポートの事前・事後指導を通して、考察の軸の設定の仕方、基礎的な資料の使い方、資料検索の方法を身につけ、論理的な文章を書く力を育てる。(夏休みの課題) - 時事的な問題を新聞記事などを用いて理解する。 - 社会科テストを通して、基礎知識を身につけ、また定着を図る。 (日本の都道府県・県庁所在地・地形、世界の国名・首都名・地形) - ICTを活用した授業 - 映像資料を用いて、より立体的な地域理解を図る - Google Classroom による課題や参考資料の配信 - Google スライドやロイロノートなどを活用し、プレゼンテーションの経験を積み、ICTを用いた発表力・表現力を育てる - Google earth と地図帳を併用し、地球の多面的な見方・視点を育てる - 統計情報の見方や、使い方について基礎的な内容を理解し、客観的・論理的な考え方を育てる - GISの基礎的な知識・活用方法を理解する。
6年		【日本の歴史】 (縄文のむらから古墳の国へ) (天皇中心の国づくり) (貴族のくらし) (武士の世の中へ) (今に伝わる室町文化) (戦国の世から天下統一へ) (江戸幕府と政治の安定) (町人の文化と新しい学問) (明治の国づくりを進めた人々) (世界に歩み出した日本) (長く続いた戦争と人々のくらし) (新しい日本、平和な日本へ) (令和という時代にどう生きる) それぞれの時代の人々の行動、その時代背景を読み取り、外国からの影響も含め日本の歩んできた歴史について理解し関心をもつ。	【わたしたちの生活と政治】 日本国憲法の基本的な考え方を理解し、地方公共団体や三権分立などの国の政治の働きを調べ、国家や国民生活の基本が定められていることを考える。 【日本とつながりの深い国々】 日本と経済や文化などの面でつながりが深い米国、中国、韓国、サウジアラビアなどの人々の生活の様子を調べて、文化や伝統を互いに理解し、尊重し合っていくことが必要であることに気付くことができる。 【世界の未来と日本の役割】 国連の活動や外国との文化交流、民間団体や政府の国際協力活動について調べ、平和な国際社会の実現に努力する国際連合の働きや日本が果たしている役割に気付くことができる。	・タブレットPCを活用する。・SDGsの視点をもつ。 ・旧石器時代～令和時代の歴史を学ぶ。・近現代史の資料として「聖心女子学院100年史」「朝日新聞号外縮刷版」を活用する。・外国との関連を重視する。・対話と討論を取り入れる。・世界文化遺産の教材化。・新聞記事から時事問題を話題にする。・『声に出して読みたい日本語』(草思社)を活用 ・『日本国憲法』(童話屋)を活用 ・校外学習(遺跡の発掘、歴史資料館見学)・新聞での研究の仕方を学ぶ。・新聞のマイスター(ニュースキャスター)・地図のマイスター(国名100以上、首都名80以上を目指す。) ・私立小学校社会科研究会著『これだけは身につけよう！社会科の基礎・活用』『地図はともだち』で基礎的な学力、活用力を身に付ける。「歴史地図づくり」「歴史人物ポスターづくり」などに取り組む。
5年	【わたしたちの国土】 地図帳や白地図を活用し世界の中での国土の位置がわかり、国土の自然の様子、自然環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを理解し、国土に対する理解と愛情をもつ。 【わたしたちの生活と環境】 日本の公害と生活環境、森林資源の働き、自然災害の防止の取り組みなどに関心をもって意欲的に調べ、国土の環境保全や自然災害の防止への協力の大切さを考えるとともに、世界の環境問題についても考える。		【わたしたちの生活と食料生産】 農業や水産業に関心をもち、食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを理解し、食料生産の発展を考える。 【わたしたちの生活と工業生産】 我が国の工業生産の様子に関心をもち、工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解するとともにその発展を考える。 【情報化した社会とわたしたちの生活】日本の情報産業や情報化した社会の様子に関心をもって意欲的に調べ、情報産業や情報化の進展が国民生活に大きな影響を及ぼしていることや、新聞の読み方を通して情報の有効利用が大切であることを理解するとともに、情報化のよりよい進展について考える。	・タブレットPCを活用する。・SDGsの視点をもつ。 ・外国との関連を重視する。・対話と討論を取り入れる。 ・世界自然遺産の教材化・新聞記事から時事問題を話題にする。 ・校外学習(田植え、環境教育プログラム体験)・新聞記者などのゲストティーチャー・新聞の読み方を学ぶ。・ネットリテラシーを学ぶ。・輪島塗などの実物を学習材とする。・東日本大震災被災地の復興状況を調べ何ができるかを考える。・新聞のマイスター(週間ニュースカレンダー、日本のニュース地図、世界のニュース地図、ニュースをキャッチ)・地図のマイスター(都道府県、県庁所在地、地方名すべて。国名80以上、首都名60以上を目指す。) ・私立小学校社会科研究会著『これだけは身につけよう！社会科の基礎・活用』『地図はともだち』で基礎的な学力、活用力を身に付ける。・各種白地図の活用「世界の時差地図づくり」「日本の食料生産地図づくり」「オリジナル地図づくり」「環境地図づくり」などに取り組む。

数 学 ・ 算 数	セカンドステージ 目標 ・論理的に考える力,説明する力を養う。 ・抽象的な数を把握する力を養う。 ・文字を含んだ式の計算力と応用力を養う。 ・図形の性質を理解し,活用する力を養う。
-----------------	--

学年	A 数と式(7,8年) A 数と計算(5,6年)	B 図形	C 関数(7,8年) C 変化と関係 (5,6年)	D データの 活用	〔数学的活動〕	聖心の特色
8年	【式の計算・平方根】 平方根、式の展開や因数分解について理解し、それを用いて表現し、考察する。	【三角形と四角形】 図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現することができる。 【図形と相似】 図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を伸ばす。 【線分の比と計量】 平行線と線分の比についての性質を見出し、それらを具体的な場面で活用できるようにする。 【円】 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それらを具体的な場面で活用できるようにする。	【1次関数】 具体的な事象の中から、2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べ、1次関数について理解するとともに、関数関係を見だし考察する能力を高める。	【確率と標本調査】 不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して、確率について理解し、それを用いて考察し表現することができる。 標本調査の必要性和意味を理解し、方法や結果について考察・表現できるようにする。 【データの活用】 目的に応じて資料を収集し、表やグラフに整理し代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができる。	全単元を通して、以下の数学的活動を行う。 ・既習の数学を基に、数や図形の性質を見だし、発展させる ・日常生活で数学を利用する ・数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う	数学的な見方・考え方を意識させ、思考力・判断力・表現力を養う。 数感覚を豊かにし、計算のセンスを磨く。 すべての単元において、生徒が考え、自ら発見することに重点をおいて指導している。 ・中高一貫校用の教材を使用し、高等学校の学習内容も取り入れながらより系統的な学習を実現している。 先取り学習内容例： 円の性質（接弦定理、方べきの定理など）、チェバの定理、メネラウスの定理、因数分解（たすきがけ、複2次式）等 ・図形と数式に分け、それぞれ別の教員が授業を担当。 ・充分な問題演習と先取り学習、発展的学習を取り入れている。必要に応じて個別補習を行う。
7年	【正の数と負の数】 正の数と負の数について理解し、その四則計算ができる。 【式の計算】 文字を用いて数量の関係を式に表現する能力を身に付け、文字式の計算ができる。 【方程式】 方程式について理解し、1元1次方程式を用いて考察することができる。 連立2元1次方程式を理解し、具体的な場面で活用することができる。 【不等式】 不等式について理解し、具体的な場面で活用することができる。	【平面図形】 基本的な作図方法を学ぶ。図形の移動と合同について理解する。 【空間図形】 空間における直線や平面の位置関係を知り、空間図形の理解を深める。 【図形の性質と合同】 平行線や角の性質を活用し、多角形の角について考察する。 三角形の合同条件について理解し、証明の基本的手順を学ぶ。	【比例・反比例】 2つの数量を取り出し、関数関係を見だし、特に比例、反比例の関係について表現し考察する能力を身に付ける。			
6年	【分数の乗法、除法】 分数の乗法及び除法の意味について理解し、計算ができる。 【文字を用いた式】 文字を用いて数量の関係を式に表現することができる。 【正負の数】 正負の数について理解する。	【縮図や拡大図,対称な図形】縮図や拡大図、線対称、点対称な図形の意味や性質について理解する。 【概形とおよその面積】身の回りにある形について、その概形を捉えおよその面積などを求めることができる。 【円の面積】円の面積の求め方を理解し、工夫して円の面積を求めることができる。 【角柱及び円柱の体積】角柱及び円柱の体積の求め方を理解する。	【比例】 比例や反比例の関係を理解する。 【比】 2つの数量の割合を表す方法としての比について理解する。	【データの考察】 平均や散らばりの様子や代表値について理解する。目的に応じて統計的な問題解決の方法を知る。 【起こり得る場合】 起こり得る場合を順序よく整理して図や表を用いて整理する。	・日常の事象を数理的に捉え問題を見いだして解決し、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする。 ・算数の学習場面から算数の問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する。 ・問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う。	・数学的な見方・考え方を意識させ、思考力・判断力・表現力を養う。 ・数感覚を豊かにし、計算のセンスを磨く。 ・学び合いを通して、相手の意見を受け、筋道立てて説明することができるようにする。 ・発展的内容の学習を取り入れ、応用する力を養う。 ・生活とのつながりを意識し、日常の中で数学の生かされている場面を見つける。
5年	【整数の性質】 偶数・奇数、倍数・約数などについて知り、整数の性質の理解を深める。 【整数、小数の記数法】 10倍、100倍、1000倍、10分の1、100分の1などの大きさの数を小数点の位置を移して作ることができる。 【小数の乗法、除法】 乗数が小数の場合の乗法、除法の意味や計算の仕方について理解し用いる。 【分数の意味と表し方】 分数の意味を理解し、整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。 【分数の加法、減法】 異分母の加法及び減法の意味について理解し、計算ができる。 【数量の関係を表す式】 □や△を用いた数量の関係を表す式の理解を深める。	【平面図形の性質】 図形の形や大きさが決まる要素と図形の合同について理解する。多角形の簡単な性質について見だし、説明することができる。 【立体図形の性質】 角柱や円柱の意味や性質について理解する。 【平面図形の面積】 三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を理解し、公式を作り出し、それらの面積を計算で求める。 【立体図形の体積】 立体の体積について単位（cm ³ , m ³ ）と測定の意味を理解し、計算で求める。	【伴って変わる二つの数量の関係】 簡単な場合について、比例の関係があることを知る。 【異種の二つの量の割合】 平均の意味を理解し、異種の2量の割合として捉えられる数量について比べることの意味や比べ方、表し方を理解する。 【割合】 数量の比較や全体や部分の関係の考察などで割合を用いる場合があることを理解する。	【円グラフや帯グラフ】 円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方について理解する。統計的な問題解決の方法を知る。 【測定値の平均】 平均の意味を理解し、日常生活にいかす。	・日常の事象から算数の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする。 ・算数の学習場面から算数の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする。 ・問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う。	・クラスを半分に分けた少人数制による指導教科担任制の実施。 ・1コマ50分の授業時間。 ・応用的な副教材を扱う。 ・年に2回まとめのテストを実施し、単元を越えた学力の定着を図る。 ・一人一台のタブレットPCを活用し、理解を深めたり習熟を図ったりする。 ・プログラミングで正多角形などの図形を作図する。

理 科	セカンドステージ 目標 1. 見えない量である力・音・光・電気を、実験を通して解析し、理解する力をつける。 2. 実験を通して物質の性質や化学変化の様子を確かめ、 化学変化のしくみを原子の視点から理解する力をつける。 3. 植物と動物の体のつくりを学ぶことにより、 地球における生物の役割について理解する力をつける。 4. 地球の成り立ちと活動、 太陽や月との関係を理解する力をつける。
-----	--

学年	現象とエネルギー	物質と変化	生命	宇宙と地球	聖心の特色
8年	【電流と電圧】 多くの実験を通して、電流と電圧の規則性を導き、電流、電子、放射線の正体を知る。 【電流と磁界】 電磁石と電磁誘導の実験を通して、電流の磁界の相互作用について理解する。	【物質のなりたちと化学変化】 原子・分子と化学式、物質の分解について理解する。 【いろいろな化学変化】 多くの実験を通して、化学変化の法則を原子・分子のモデルで説明する力を養う。	【生物と細胞】 動物と植物の細胞のつくりを観察・比較する。 【植物の体のつくりとはたらき】 植物の体についての理解を深める。 【動物の体のつくりとはたらき】 動物の体についての理解を深める。	【天気とその変化】 大気循環から、気象現象が起こるしくみと規則性について理解し、気象データを読み取る能力を身につける。	☆体験的実験観察を重視したカリキュラム編成を行っている。 ・講義→実験→講義のサイクルを作り、実際の現象をとらえながら進める授業を行っている。 7年・8年 教師の専門性（物理・化学・生物・地学）を生かして、担当している。 <u>学習例</u> ・1人1つのブタの目、ニワトリの心臓の解剖 ・校内の野外植物の観察とスケッチ ・ガスバーナーを1人で安全に操作 ・1人1台の光学顕微鏡や双眼実体顕微鏡を用いての観察 ・デジタルコンテンツ等を利用した視覚的な授業 5・6年 理科専科教員が担当し、年に数回、中高理科教員による交流授業の実施。 <u>学習例</u> ・発電体験 ・太陽の黒点、プロミネンス観測 ・ポカリスエットを使った濃度実験 ・微炭酸作り ・月の形の見え方実験 ・てこの楽しい実験 ・ミョウバンの大型結晶作り ・雲作り体験 ・川の流れ実験と地層作り ・プログラミング学習
7年	【光と音】 光・音の性質を、実験を通して理解する。 【力】 実験・観察を通して日常生活における力のはたらきについて理解する。	【物質の性質】 身の回りの物質の性質を調べ、区別する力をつける。実験により物質が状態変化することを知る。 【気体の性質】 いろいろな気体を発生させ、その性質の違いを理解する。 【水溶液の性質】 溶解度と再結晶の理解を深める。	【植物の体のつくりとはたらき】 野外観察や顕微鏡観察を通して植物の体のつくりとはたらきを理解する。 【生物のなかま分け】 生物の体の共通点と相違点をもとに動物・植物を分類する。	【地震と火山】 地震や火山の活動を地球の内部構造と関連付けて理解する。 【地層】 地層から大地の成り立ちを学ぶ。	
6年	【てこのはたらき】 てこの利便性を体得し、てこの働きについて理解を深める。 【発電と電気の利用】 発電の体験をし、できた電気を利用する方法を学ぶ。タブレットPCを利活用し、プログラミングで効率的な電気の使い方を考える。	【ものが燃えるしくみ】 物の燃焼と空気の変化とを関係付けて推論する能力を身に付ける。 【水溶液の性質】 水溶液の性質について理解を深める。	【植物のつくりとはたらき】 栽培・観察を通して、植物と日光の関わりを追究し、生命を尊重する態度を身に付ける。 【ヒトや動物の体】 動物の体の各器官が相互に関わり合って生命を維持していることを理解する。 【生物どうしのつながり・自然とともに生きる】 自然界における動植物の関わりについて理解する。	【月と太陽】 月の満ち欠けから、月・太陽・地球の位置関係を理解する。 【大地のつくりと変化】 地層のでき方や火山、地震による大地の変化を理解する。	
5年	【電流と電磁石】 電磁石の性質や働きを理解するとともに、ものづくりとして電磁石のおもちゃ作りに取り組む。 【振り子のきまり】 振り子の性質を理解する。	【ものの溶け方】 食塩、ミョウバンの溶け方から、物が水に溶けるときの理解を深める。	【植物の発芽と成長】 種子の発芽 ・ 成長に必要な条件について理解する。 【花から実へ】 受粉によって実ができることを理解する。 【メダカの誕生】【ヒトの誕生】 メダカを育てることから、生物の誕生についての理解を深める。	【雲と天気の変化】 春夏秋冬の日本の天気について理解する。雲のようすと天気を知関係を知る。 【流れる水のはたらき】 川の流れにより土地が変化することを理解する。 【台風と気象情報】 台風の情報について調べ、進み方や被害を知る。	☆課題研究 8年：軟体動物(イカ)の解剖、手羽先の解剖 7年：夏休みに自分で実際に計測・観察を行った自由研究をする、無セキツイ動物について調べる 6年：卒業研究として1年間、各自が選んだテーマで研究し発表を行う。(理科のテーマ選択者) 5年：一年間、個人研究として、各自が選んだテーマで研究し発表を行う。(理科のテーマ選択者)夏休みに台風の情報収集をする。

音楽	セカンドステージ 目標 身体の状態を意識し身体全体（声）を使い、主体的に音楽表現することを目指す。 楽譜内の作曲者のメッセージを読み取るための知識を得、表現する力を付ける。
----	--

	表現 歌う・弾く・創る	識る	鑑賞 聴いて味わう	聖心女子学院の特色 その他
8 年	〔合唱〕〔クラIPPING〕 曲にふさわしい表現をする。 体やさまざまな打楽器を使って音楽を創る。 合唱（三部合唱） 聖歌「Hallelujah!」「Ave Maria」「一致のうた」等 演奏（発表会またはコンクール）	〔楽典〕 音程、長音階、短音階、調性 フーガの形式 オーケストラの編成や各楽器の特徴 日本の歌曲 雅楽の歴史、各楽器の記譜法や奏法、音色 J. S. バッハ「小フーガ ト短調」、ベートーヴェン「運命」、雅楽「越天楽」		〔総合的に音楽をとらえる意識〕 時代による様式や和声の違い、表現の特徴など楽曲、音楽史や音楽的要素をも、関連することは機に応じて積極的に取り入れ、表現や鑑賞に生かす。
7 年	〔合奏〕〔合唱〕 中等科の入り口として基礎となる発声を学び、曲趣にあった歌い方をする。 日本の伝統楽器である箏を演奏する。 合唱（二部合唱、三部合唱） 聖歌「Hallelujah!」「Ave Maria」「一致のうた」等 演奏（発表会またはコンクール、 箏曲「さくらさくら」「朧月夜」）	〔楽典〕 音符・休符、記号、音名・階名、音程、形式 日本の音階、楽譜	〔鑑賞〕 ヴィヴァルディ「春」 チャイコフスキー「弦楽合奏のセレナード」 シューベルト「魔王」 八橋検校「六段の調」	〔キリスト教音楽〕 名曲を歌い、西洋音楽の原点に触れる。 ラテン語の宗教曲に慣れ、その歌詞の意味を知る。 通年で聖歌 各種宗教行事での宗教曲 英語によるクリスマス・キャロル 「Hallelujah!」 （Händel 女声 3 部） 「Ave Maria」 （Gaunod 女声 3 部）など 合唱コンクール（隔年で宗教曲） 「Ave Verum Corpus」 （Mozart 女声 3 部など）
6 年	〔合奏〕〔合唱〕 初等科集大成として全体をリードする演奏をする。 自分なりの表現と一体感のあるアンサンブルを目指す。 合唱（卒業式の歌など） 聖歌（英語・ラテン語） 合奏（運動会での鼓笛隊・学習発表会用合奏）	〔楽典〕 強弱記号、速度記号 ソルフェージュ（音価 リズム） 音楽を構成する要素 音色、リズム、速度、旋律、音階、調、強弱、拍、音の重なり、和音の響き、フレーズ、反復、変化、呼びかけと答え、音の重なりと音楽の進み方	〔鑑賞〕 Beethoven「運命」1 楽章 ゲストティーチャーによる 日本の音楽（日本の箏・笛）	
5 年	〔合奏〕〔合唱〕 心身の成長に伴った自然な表現を目指す。 合唱（二部合唱） 聖歌（英語・ラテン語） 合奏（卒業式での合奏） 〔創作〕三和音を利用した対旋律作り 沖縄の音階を使用した旋律作り	〔楽典〕 声のパート区分、主要三和音、へ音記号 沖縄の音階や楽器を識る。 室内楽（五重奏） オペラなど劇音楽を味わう ソルフェージュ（音程 リズム） 音楽を構成する要素（6 年と同じ）	〔鑑賞〕 沖縄の音楽 Schubert ピアノ五重奏「ます」 Sibelius 組曲「カレリア」から	〔楽典〕 作曲者の意図を理解した表現を目指す。しかし、楽譜通り音が鳴れば音楽の完成という訳ではないことも感じ取る。 ソルフェージュ 読譜

美術 図工科	セカンドステージ 目標 表現および鑑賞の活動を通して、自分の見方や感じ方を深める。 材料、用具を工夫して、創造的な技能や能力を育てるとともに、自分なりの表現を広げる。
------------------------------	---

学年	表現			鑑賞	発展	聖心の特色
	絵画・版画・彫塑	工作・デザイン・工芸	造形遊び			
8年	〔泣く女〕(絵画) 人物画を制作する。色・形・構成等、写実から離れた表現に挑戦する。 〔しましまの部屋〕(絵画) 抽象画を制作し、色や形の効果を学ぶ。 〔芸術ってなに?〕(彫塑) 既製品を構成した立体作品を作る。 価値について考える。	〔難しいけれど読みたい本〕(デザイン・工芸) 本の装丁デザインを行う。 題材とする本を選び、見る人が受け入れやすく、読書のきっかけになるような装丁を目指す。 選書の条件は「5年生に勧めたい、少し難しい本」とする。		美術作品を鑑賞し、自ら解釈すると同時に、時代の価値観や特有の技法等を知る。 他者の作品のみならず、自分の作品についても客観的に捉え、言語的に解釈する能力を養う。	文化祭等での校内展示	物事を問い直し、自らの見方を視覚的・言語的に提案する。表現力を養う。 ステージ内で異なる学年と交流を持つ。
7年	〔光の色を捉える〕(絵画) 点描画を制作する。 基礎的な色彩理論を身に付ける。 〔自然のかたち〕(彫塑) 野菜を精密に模刻・着彩する。 自然物の複雑さを味わうと共に、構造理解にも努める。実直な観察姿勢を育む。	〔公正ってなんだろう〕(デザイン・工芸) ユニバーサルデザインを適用したボードゲームを制作する。公正さについて考える。		美術作品を鑑賞し、自ら解釈すると同時に、時代の価値観や特有の技法等を知る。 他者の作品のみならず、自分の作品についても客観的に捉え、言語的に解釈する能力を養う。	文化祭等での校内展示	物事に実直に向き合う。 他者への想像力を働かせ、共生のために何ができるか考える。
6年	〔人物画〕(絵画) 人物の特徴をとらえ、水彩絵の具の重色、混色を生かし、表現する。 〔絵手紙 ～花～〕(絵画)…隔年(偶数年度) 自分らしい表現を大切にしながら、面相筆の使い方、淡彩の塗り方を身につける。	〔12歳のモニュメント〕(工作・デザイン) 展示に向けた立体作品を作る。 素材の良さを生かした表現をする。 〔壁かけづくり〕(工芸) キャンパスの木枠を組み、毛糸で織る。 〔図形の組み合わせ 平面構成②〕(デザイン) パースペクティブシートの線を利用し、立体図形を描く。	〔造形遊び〕 フロッタージュ スパッタリング マーブリング ドロッピング などの技法を体験する。	〔美術館見学〕 現代美術の新しい表現に触れる。 作品を展示し、お互いに鑑賞し合うことで、豊かな情操を養う。	学習発表会展示 隔年(奇数年度) 「ほら、できたよ」 (東京私立小学校 児童作品展) (偶数年度)	想像力を働かせて、主題の表し方を構想し、創造表現の能力と技能を育てる。 5年生までに使用した材料や道具に加え、キャンバスやイーゼルを使う。 美術館(現代美術)の鑑賞を通して感性を高め、制作に生かす。
5年	〔多色刷り木版画〕(版画) 一版で、多色刷りの表現技法を学ぶ。 〔絵手紙 ～靴～〕(絵画)…隔年(偶数年度) 自分らしい表現を大切にしながら、面相筆の使い方、淡彩の塗り方を身につける。	〔重ねた形 平面構成①〕(デザイン) 自由な形を組み合わせ、重ねたデザインを生かし構成する。		〔美術館見学〕 本物の美術作品に触れ、鑑賞の能力を高める。 作品を展示し、お互いに鑑賞し合うことで、豊かな情操を養う。	学習発表会展示 隔年(奇数年度)	材料(紙・木・粘土)、道具(電動式糸鋸・ダンボールカッター・きり・ペンチ・クランプ等)の良さを考え、創造的な技能を働かせて、楽しく表現する。 美術館(近代美術)の鑑賞を通して、美術作品に興味と関心をもつ。

保健体育 体 育	セカンドステージ 目標	
	1.	自分の体力、運動能力を正しく知り、 向上心をもって取り組む姿勢を育てる。
	2.	競争や協同の経験を通して、 公正な態度を育て、 互いに協力して責任を果たす態度を養う。
	3.	各分野の運動を系統的に学習させ、 児童・生徒の能力を伸ばすことを目指す。
	4.	自分の身体の変化を受容し、 個人差のあることを理解させる。
	5.	身体と心のつながりを理解させる。

学年	体づくり運動	器械運動	陸上運動・陸上競技	水泳	ボール運動・球技	武道	表現運動・ダンス	体育理論	保健	聖心の特色
8年	健康・安全に気を配り、柔軟性や持久力を高める。		〔陸上競技〕 記録の向上や競走の楽しさを知る。	〔水泳〕 クロール・平泳ぎ・背泳ぎの正しい泳法を習得する。また、着衣泳の実践を通して水の危険性を学ぶ。	〔ソフトボール〕 投打の技術を身につけ、ゲームができる。 〔バスケットボール〕 パス・ドリブル・シュートの技術を身につけ、ゲームができる。 〔卓球〕 様々な打法を習得し、シングルス・ダブルスのゲームができる。	〔剣道〕 礼儀作法を学び、基本動作を習得する。 (7、8年のどちらかで実施)	〔ダンス〕 フォークダンスのステップを用いた創作をする。 (7、8年のどちらかで実施)	〔体育理論〕 運動やスポーツの意義や効果などを理解する。	〔傷害の防止〕 応急処置の意義・手順を理解し活用できる。	7年・8年では、野外活動としてオリエンテーリングを実施する。 広い学校の敷地を利用して、校内でオリエンテーリングを行う。 水泳は、5年・6年では習熟度別のグループに分かれて泳法の基本を学ぶ。 7年・8年からは、更に泳力を伸ばすために、学校独自の泳力判定表を用い、一人一人が自分の目標を定め、記録に挑戦する。
7年	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高める。		〔短距離走〕 クラウチングスタートを習得する。 〔長距離走〕 自分の体力に応じたペース配分を知る。 〔リレー〕 バトンパスの技術を習得する。		〔バレーボール〕 各ポジションの役割を学び、ゲームの中で生かす。 〔卓球〕 基本技術を習得し、ルールを理解する。					
6年	いろいろな運動を通じて、体を動かす楽しさを味わい体力を高める。	〔マット運動〕 回転技や倒立技を安定して行い、その発展技・連続技ができる。 〔跳び箱運動〕 基本的な支持とびこし技ができ、その発展技ができる。	〔短距離走・リレー〕 一定の距離をフォームに気を付けながら全力で走ることができる。 〔走り幅跳び〕 リズミカルな助走から空中姿勢に気を付けて跳ぶことができる。	〔習熟度別グループ学習〕 自己の能力に応じた泳法を身に付け、より美しいフォームで泳げるようにする。	〔バスケットボール〕 仲間と協力してゲームや練習ができる。 簡単な審判ができる。 〔バレーボール〕 パス、レシーブの基本技能を養い、簡単なゲームができる。		〔表現〕 主題に合わせて多様な動きを表現する力を高める。 〔マ스ゲーム〕 旗などを使って、集団で表現する力をつける。		〔病気の予防〕 病気の予防について理解し、健康的な生活に生かすことができる。	5年からは、毎年体力測定を実施して、自分の体力の特徴と年次変化を知り、体育活動に生かす。
5年	いろいろな運動を通じて、体を動かす楽しさを味わい体力を高める。	〔マット運動〕 基本的な回転技や倒立技ができる。 〔跳び箱運動〕 基本的な支持とびこし技ができる。	〔短距離走・リレー〕 一定の距離を全力で走ることができる。 〔走り幅跳び〕 リズミカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。	〔習熟度別グループ学習〕 自己の能力に応じた泳法を身に付ける。	〔バスケットボール〕 基本技能を養い、ルールを理解し、簡単なゲームができる。 〔バレーボール〕 パス、レシーブの基本技能を養う。		〔表現〕 主題に合わせて多様な動きを表現する力を高める。 〔フォークダンス〕 踊り方の特徴をとらえ、ステップや動きを身につける。		〔けがの防止〕 けがの防止について理解し、簡単な手当ができる。 〔心の健康〕 心の発達及び不安・悩みへの対処について理解する。	

英語 (English) Aim of <u>Second Stage</u> : 培った基礎力を応用し、自分の考えを表現するツールとしての英語力を育成する									
◎重点的に指導する skill ○扱う skill									
Can Do List (到達目標)		Teaching Materials(使用教材) Approximate number of vocabulary words learnt(習得語彙数)	Key Topics (主なる学習内容)	Listening (聴く)	Reading (読む)	Speaking (話す)	Writing (書く)	Presentation (発表する)	Characteristics of English Instruction at Sacred Heart (特色)
G8	- Acquiring practical English with learnt expressions and grammar - Understanding different cultures from learning American history, culture and geography	<u>Progress in English 21</u> Book 2	- sentence pattern - comparative - relative pronoun - perfective - passive - infinitive - gerund	Catching and understanding specific content and summaries	Reading fluently (including stress and intonation) while thinking about context	Communicating based on purpose and situation with accurate expressions	Writing cohesive compositions and summaries	Making short speeches with learnt expressions	- 授業は祈りで始める。 - 教員とのコミュニケーションは主に英語で行われ、統合的な英語教育を目指している。 8年生からは習熟度別の授業を行う。 - 独自の英語俳句作成に挑戦し、校外のコンテストに参加する。 - 学習の成果をイングリッシュデー等で発表する。
G7	Understanding everyday topics and expressing simple opinions in integrated skills of English	<u>Progress in English 21</u> Book 1	- tenses - affirmative, negative, interrogative sentences - sentence structures	Catching the main point in short, clear, simple stories and messages	Reading short and simple texts such as Aesop Fables	Communicating simple and routine tasks and handling short social exchanges	Writing short, simple messages or stories	Using a series of phrases and sentences to describe everyday life	
G6	- Introduce oneself and others - Able to apply previously learnt vocabulary and grammar creatively(既習事項の応用) - Grammar(既習事項を体験的にとらえ習得する)	- Just Look 'n Learn Picture Dictionary (1500 words with example sentences) - Progress in English 21 Book 1 <u>The Nativity Story (Christmas Wishing script)</u> <u>Story of St. Madeleine Sophie and St. Philippine Duchesne</u>	<u>The Lord's Prayer</u> - Comprehensive review of all material from grades 1-6 - Introduction to Progress in English	◎ Comprehend textbook dialogues and peer presentations	◎ Expand vocabulary using Progress in English	◎ Utilize newly learned grammar points to talk about daily life	◎ Review penmanship using Progress Penmanship	◎ - In-class presentations - Christmas Wishing	- 授業は英語の祈りで始まり英語で進める - 英語表記による独自の教材、ワークシートを使用し学習を進める - 英英辞典で語彙や基本文例を正確に習得する - 宗教教育とリンクした学習内容、行事
G5	- Talking about myself and my family - Grammar(既習事項を文法に照らし合わせ理解を深める)	- Just Look 'n Learn Picture Dictionary (1500 words with example sentences) - Doors to Grammar Book 1 - Learn approximately <u>200 new words</u> - Easy Aesop's Fables (with CD)	<u>Hail Mary Prayer</u> - World culture topics - Basic grammar - Talking about my family - Writing about my school field trip	◎ Understand short spoken instructions and narratives	◎ Able to write paragraphs and short stories	◎ Introduce family and friends	◎ Write short introductions about family and friends	◎ - In-class presentations 5th grade presentation - Christmas Wishing	★Christmas Wishing 6年生が中心となりイエスの誕生を英語劇や歌、合奏により初等科生全員で祈り祝う - 海外姉妹校、カトリック校との交流 - 英単語検定・実用英語技術検定受験・TGG などでの体験を通して実力をはかる

技術・家庭	セカンドステージ 目標 ・生活に関する基礎・基本的な知識・技能を習得し、家庭生活に生かし実践する力を育てる。 ・よりよい家庭を築こうとする態度を養う。 ・環境に配慮した消費生活を工夫し実践する力をつける。
-------	--

学年	家庭分野				技術分野	聖心の特色
	家族・家庭生活	食生活	衣生活・住生活	消費生活・環境		
8年	〔家庭での実践〕 学びで得た知識を家庭で実践することで、主体的な行動力と、実践力を育てる。	〔食品の選択〕 旬や鮮度、環境負荷や食糧問題などを意識し、また食品添加物について正しい認識を持った上で、主体的に食材を選び、活用できる力を身につける。	衣服の働き・繊維の特徴 衣服や材料の役割や特徴について理解し、主体的な選択や、管理を行う力をつける。 〔ハーフパンツ製作〕 適する布を選択し製作することを通して、製作技術を身につけるとともに、被服の構成に目を向ける。	〔エシカルに選択する〕 自分の消費行動が生産地や社会にどんな影響を及ぼすのかを考え、改善方法を考える。フェアトレードやフードマイレージ等について理解を深める。	〔材料と加工〕 生活の中で利用されている材料と加工に関する技術について理解を深める。 〔エネルギー変換〕 エネルギーに関して理解を深め、省エネルギーや安全に活用するための知識を持つ。 製作を通して、基礎的な技術と知識を身につける。	授業で学習した生活に関する知識や技能を、学校生活だけでなく自らの家庭でも実践、応用するところまでを考える。その過程で家族とのコミュニケーションをとったり、伝統などにも触れ、また、発表を行うことで新たな視点を得る機会とする。 具体例としては ・ 休暇中に行った家庭での仕事を家族でコミュニケーションをとりながらレポートにまとめる。
7年	〔自分の成長と家族〕 家庭の役割について興味を持ち、家族の一員として責任を持って役割を担おうとする意識をもつ。	〔食生活を見直す〕 栄養素の働きとそれが多く含まれる食品について理解し、自分の食生活をより良くする知識を身につける。 調理実習は、学校行事で実践することも意識する。	〔生活を豊かにする制作〕 体育大会等で使用するハチマキを作る。キャンディバッグの製作を通して、簡単な補修の技術を身につけると共に、他者のために工夫して心を込めて作る。	食を通して環境を考える 食を通して、ゴミや自給率、環境負荷などについて学び、自分に来ることを考える。	〔生物の育成〕 生物育成の技術と社会や環境との関わりについて理解を深める。 〔情報機器の活用〕 身近な機器を活用する技術を身につけ、工夫して他者に伝える力をつける。	・行事などで使用するはちまきや調理実習などで使用するエプロンを自分で製作する。 ・授業に関連したテーマの中から各自が課題を設定し、計画・実践後、授業で発表して他者と共有する。
6年	〔生活時間をマネジメント〕 生活時間を工夫し、自分の仕事を分担することができる。 〔共に生きる地域での生活〕 身近な人々とののかかわりを考え、感謝を伝えることができる。	〔献立を工夫して〕 栄養のバランスを考えた食事をしようとする。簡単なおかずを作り、基本的な知識と技術を身に付ける。 料理や食品を組み合わせさせてバランスの良いお弁当を作る。	〔生活を豊かにソーイング〕 道具を安全に使い、小物の製作ができる。 〔衣服の着用と手入れ〕 衣服の快適な着方を工夫し、適切な手入れができる。 〔クリーン大作戦〕 住まい方に関心をもち、工夫して掃除ができる。	〔生活を支えるお金と物〕 物や金銭の大切さに気付き、買い方を考えることができる。何を大切に買い物をしたら良いかを考える。		キリスト教の学校として、自分のためだけでなく、他者、社会、環境への視点も合わせてもち、奉仕の精神やそれを持続していく学習姿勢を身に付ける。 具体例としては ・6年生が入学時からペアになっている1年生にリングの皮をむき、一緒に食べることで、学習した技能を他者のために実現する機会としている。 ・宗教行事の時に行われるクッキーセールに、ボランティアでクッキーを作り、収益金の寄付する。
5年	〔自分の成長と家族〕 自分の生活を振り返り、家庭生活と家族の大切さに気付くことができる。	〔食事の役割〕 栄養素の種類と働きを理解し、楽しく食事をするための工夫ができる。 〔調理の基礎〕 調理に関心をもち、安全に調理できる。	〔縫い方の基礎〕 手縫いやミシン縫いで小物を製作できる。文化祭にむけ、共同で作品を作る。 〔整理整頓で快適に〕 整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できる。	〔持続可能な社会を生きる〕 生活と環境とのかかわりに気付き、工夫できる。 ものやエネルギーをどう使うかを考え、家庭生活に生かすことができる。		・身近な人への感謝の気持ちを表すために、6年生が会食を企画、運営をする。 ・7年生が作るキャンディバッグは、もゆる会を通してクリスマスにファーストステージ生へ渡される。 自分の製作技術を高めるとともに、他者のために心を込めて作業を行う。

総合的な 学習の時間	セカンドステージ 目標 人・自然・世界・命とかかわろうとする力を育てるとともに、奉仕の精神を身に付け具体的に行動できる力をつける。
---------------	--

学年	横断的、総合的な活動 児童の興味・関心に基づく活動	学校の特色に応じた活動	リテラシー	聖心の特色
8 年	学年のテーマ「自分（達）にできることから」 〔キャンプ〕 班ごとにテーマを決めて研究活動を行う。 班の中で分担された係の仕事を専門性と責任を持って果たし、協力して生活する。 班ごとの研究活動の成果をみこころ祭で発表する。 〔手話・点字の学習〕 点字と手話のどちらかを選択し学習する。 〔奉仕活動〕 受け取る相手のことを考えながら、工夫し自分の力を発揮する。	〔奉仕活動〕〔社会的意識を育てる〕 点字や手話の講習に参加や、車いすの基本操作を学び体験することで、他者を理解しようとし、自分を役立てようとする態度を育てる。 拡大カレンダーの製作等を通して、他者のために工夫し心を込めて自分の力を活かす経験をする。	〔情報リテラシー〕 インターネットやSNSなどがはらむ危険性について学び、今後の調べ学習や日常生活に活かす。 〔プレゼンテーション〕 自らの奉仕活動の体験を新聞形式でまとめ、スピーチを行うことを通して、自分が感じたことや伝えたいことを相手に伝える力を身につける。	・奥日光でのキャンプではフィールドワークと研究活動などを通して、環境問題などに主体的にかかわろうとする意欲を育てる。自分の役割を責任を持って果たすことが、班員の生活や活動を支え、キャンプの成功につながることを実感を持って体験することで、責任を持って役割を果たすことの重要性を学ぶ。 ・点字グループは、点字でクリスマスカードを作成し交流のある筑波大視覚特別支援学校の生徒に贈る。 ・手話グループは、学外の手話サークルと交流会を行う。 ・車いす体験では、押す技術だけでなく、乗る側の視点も持つことで、相手へ配慮する気持ちも育てる。
7 年	〔自分の周りを知る（学校に慣れる）〕 中等科での生活に慣れ、友人と交流を深め、変化する友人関係に柔軟に対応できる力を身に付ける。心身の成長を踏まえて安全に学校生活を送ることができる。	〔奉仕作業〕 特別養護老人ホームや保育園へ贈るクリスマス飾り・カードを制作し、奉仕にかかわろうとする意欲を育てる。 〔平和教育〕 「ハンナのかぼん」を題材に、ホロコーストについて学び、日常生活の平和について考える。	〔学校生活のガイダンス〕 総合や教科の学習で必要とされる情報収集の方法や情報を適切に使う情報倫理について学ぶ。 〔プレゼンテーション〕 プレゼンテーションの基礎について学び、コミュニケーション能力を育む	・初等科から中等科への進学においてガイダンスとして、情報機器・情報倫理・図書館リファレンス・インターネットと著作権などの授業を行い、それらの知識や技術を活用できるようにする。 ・「ハンナのかぼん」を題材として用い、読書や映画・ビデオの視聴、講演などの活動を通して平和について考える機会をもつ。 ・近隣のゴミ拾いなどを通して地域への感謝を伝える。
6 年	〔研究テーマを決め、研究計画を立てよう〕 卒業研究のテーマは趣味的なものではなく、人・自然・世界にかかわる横断的、総合的な活動につながるものを設定する。研究テーマを設定し、動機・ねらい・内容・方法を考え、計画を立てることができる。 〔資料を集め、整理しよう〕 資料の集め方を学び、資料を収集し、整理することができる。 〔研究をまとめよう〕 整理した情報を、自分の表現方法で研究をまとめることができる。 〔研究を展示し、発表しよう〕 完成した研究を展示・発表し、お互いの成果を分かち合うことができる。 〔自分の研究を振り返ろう〕 自分の研究を振り返り、中等科への研究につなげる。	〔もゆる活動に参加しよう〕 （放送）（情報）（環境）（健康）（スポーツ）（図書）（もゆる会）（国際）（ソフィア） 異学年交流のもゆる活動で、それぞれの役割を果たすとともに、奉仕にかかわろうとする意識を育てる。 〔清里校外学習に参加しよう〕 清里の自然を生かした環境プログラムにより、環境について積極的ににかかわろうとする意識を育てる。	〔情報リテラシーを身に付けよう〕 （図書資料での調べ方）（映像資料での調べ方）（webページでの調べ方）（観察、実験での調べ方）（インタビューの仕方）（フィールドワークの仕方）（アンケートの取り方） 総合的な学習に必要な情報を得るための方法を身に付けるとともに、インターネットの活用方法を習得し、ネチケットについて考える。5年時のタブレットPC活用方法の習得をさらに発展した活用方法を考える。	・タブレットPCの活用。 ・SDGsの視点をもつ。 ・朝日新聞社編『ののちゃんの自由研究』（絶版のためコピーを代用）、小林聖心女子学院小学校編の「研究の手引き」を研究のテキストとして使用する。 ・卒業研究では担任だけではなく、初等科の全教員が数名ずつ児童を担当し個別での指導を行う。（卒研デーの実施） ・家族の協力も得てフィールドワークの実施もある。 ・追究した研究課題を表現に工夫してまとめ、発表会でプレゼンテーションを行う。 ・4～6年生の異学年グループで構成するもゆる活動で、奉仕の精神を具体的な活動を通して学ぶ。 ・清里での校外学習では、環境教育専門家による環境プログラムを実施する。 ・研究の前段階、経過段階で情報リテラシーを育成。 ・興味、関心に基づく学習活動を展開する。
5 年	〔研究の仕方を学ぼう〕 個人研究のテーマは趣味的なものではなく、人・自然・世界にかかわる横断的、総合的な活動につながるものを設定する。研究テーマの設定方法を知り、資料の探し方や研究のまとめ方を学ぶ。 〔研究テーマを決め、研究計画を立てよう〕 研究テーマを設定し、動機・ねらい・内容・方法を考え、計画を立てることができる。 〔資料を集め、整理しよう〕 資料の集め方を学び、資料を収集し、整理することができる。 〔研究をまとめよう〕 整理した情報を、自分の表現方法で研究をまとめることができる。 〔研究を展示し、発表しよう〕 完成した研究を展示・発表し、お互いの成果を分かち合うことができる。 〔自分の研究を振り返ろう〕 自分の研究を振り返り、6年生の卒業研究につなげる。	〔もゆる活動に参加しよう〕 （放送）（情報）（環境）（健康）（スポーツ）（図書）（もゆる会）（国際）（ソフィア） 異学年交流のもゆる活動で、それぞれの役割を果たすとともに、奉仕にかかわろうとする意識を育てる。 〔清里校外学習に参加しよう〕 清里の自然を生かした環境プログラムにより、環境について積極的に関わろうとする意識を育てる。	〔情報リテラシーを身に付けよう〕 （タブレットPCの活用方法を習得しよう） （図書資料での調べ方）（映像資料での調べ方）（webページでの調べ方）（観察、実験での調べ方）（インタビューの仕方）（フィールドワークの仕方）（アンケートの取り方） 総合的な学習に必要な情報を得るための方法を身に付けるとともに、インターネットの活用方法を習得し、ネチケットについて考える。	・タブレットPCの活用。 ・SDGsの視点をもつ。 ・朝日新聞社編『ののちゃんの自由研究』（絶版のためコピーを代用）、小林聖心女子学院小学校編の「研究の手引き」を研究のテキストとして使用する。 ・取材の仕方を現役の新聞記者から学ぶ機会をつくる。 ・家族の協力も得てフィールドワークの実施もある。 ・追究した研究課題を表現に工夫してまとめ、発表会でプレゼンテーションを行う。 ・4～6年生の異学年グループで構成するもゆる活動で、奉仕の精神を具体的な活動を通して学ぶ。 ・清里での校外学習では、環境教育専門家による環境プログラムを実施する。 ・研究の前段階、経過段階で情報リテラシーを育成。 ・興味、関心に基づく学習活動を展開する。

教え・宗教	セカンドステージ 目標 ・神のまなざしのもとにある存在としての自分と他人を大切にする心と態度を育てる。 ・キリスト教と聖心女子学院についての客観的な知識を身につける。
-----------------------	--

学年	神	イエス・キリスト	聖書	祈り	自己	社会・倫理・環境・生命・性	ミサ	教会	聖心女子学院	行事
8年	イエスの生き方、奇跡、信仰、 イエスの生きた時代について学ぶ		福音書を中心に学ぶ	セカンドステージ 朝礼の祈りの準備	神様から豊かなタ レントを与えられ ていることに気づ き、ありのままの 自分を受け入れる ことを学ぶ	社会の一員として、兄弟姉妹愛 をもって隣人と関わることにつ いて考える			聖心女子学院の聖人、特に聖フ イリピン・デュシェーンの生き方 から学ぶ	始業ミサ 創立者祝日 みこころの祝日 感ずべき御母の祝日 フィリピン・デュシェーン祝日の祈り ゆりの行列 クリスマス・ウィッシング 練成会 野外ミサ
7年			聖書の世界について 学ぶ	沈黙のうちに祈り、 自分自身を見つ め、また他者のた めに祈る	自分の中にある善 悪を見つめ、それ らを神が受け入れ ていることに気づく	友人、家族との関りの中で良心 的に生きるとはどういうことか考 える	5年生で学んだミサに ついて、教会の歴史と つなげて理解を深める	初代教会誕生の歴 史を学ぶ	聖心会日本来日の歴史につい て学ぶ	始業ミサ 創立者祝日 みこころの祝日 感ずべき御母の祝日 フィリピン・デュシェーン祝日の祈り ゆりの行列 クリスマス・ウィッシング 練成会
6年	聖書を通して、 私に語りかけてく る 神について学 ぶ	新共同訳 新約聖書 を通して、イエスの 言葉と行いに親し み、より深く理解す る	新共同訳 新約聖書 (病人を癒す奇跡物 語、山上の説教、 善いサマリア人のた とえ話、 地の塩、世の光 放蕩息子のたとえ話 など)	沈黙のうちに祈り、 自分自身を見つ め、また他者のた めに祈る	神様と他者とのつ ながりの中で生き る自分を自覚する	地球人としてのグローバルマイ ンドを育てる	ミサの起源と意味、 構成、ミサにおける共 同体について知る	日本キリスト教史 を学び、信仰の力 に触れる	聖心女子学院にとって大切な聖 人、マリア様について学ぶ。(聖 マグダレナ・ソフィア、聖フィリ ピン・デュシェーン、感ずべき御 母)	聖母戴冠式 みこころの祝日ミサ ロザリオの祈り ゆりの行列 クリスマス・ウィッシング 感謝のミサ
5年			新共同訳 新約聖書 の構成を学ぶ			神様から与えられた命や性につ いて考える		開かれている教会を 体験するために、教 会建築を紹介する	聖心女子学院にとって大切な聖 人、マリア様について学ぶ。(聖 マグダレナ・ソフィア、聖フィリ ピン・デュシェーン、感ずべき御 母)	聖母戴冠式 十字架の道行 みこころの祝日ミサ ロザリオの祈り ゆりの行列 クリスマス・ウィッシング 感謝のミサ